

東京都知事

小池百合子様

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の
早期実現について（要望）

令和8年2月20日

瑞穂町

瑞穂町議会

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の 早期実現について（要望）

春寒の節、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素、瑞穂町の行政運営につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

瑞穂町では、殿ヶ谷、箱根ヶ崎駅西の2地区の土地区画整理事業等による商工業・居住施設の誘導とともに、新青梅街道拡幅再整備事業に伴う沿道の都市計画の変更と地区計画の決定、さやま花多来里の郷をはじめとした観光施策の充実などにより、定住及び交流人口の増加を図っています。

さて、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸は、東京都を中心に検討の深度化が図られていましたが、令和元年12月に公表された「未来の東京」戦略ビジョンにおいて、多摩・島しょ振興戦略「多摩・島しょの交通ネットワークの強化」として強力に推進されることとされました。また、令和7年3月に都市計画が決定され、令和7年5月には事業概要及び用地測量説明会が開催され、11月には事業認可を取得されました。多摩都市モノレール株式会社においては5月に国土交通省から軌道法特許を取得されるなど、手続きを着々と進められていることを心から感謝申し上げます。町民からの喜びの声も多く寄せられており、町全域において、早期の工事着手・開業への期待が高まっています。町も、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸は、多摩地域の軌道系交通ネットワークが充実し、多摩地域の発展に大きく寄与するものと確信しています。

また、交通利便性が格段に向上することにより、新たな人の交流

を生むとともに、環境負荷の低減にもつながります。

町では、延伸計画に合わせてJR八高線や多摩都市モノレール及びバス路線との町内公共交通ネットワークを再編するとともに、令和5年度に瑞穂町多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり基本構想を、令和6年度は多摩都市モノレール延伸を契機としたまちづくり基本計画を策定し、この公共交通路線を最大限活用して、町の産業の継続性及び発展性を確保するため、(仮称)No.6駅周辺では農業・商業・工業のデジタル化、更にDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進することで、産業イノベーションと継承者の育成を創出する拠点整備を組み合わせてまいります。令和7年度は、有識者会議を開催し、更に深度化しています。

また、(仮称)No.7駅周辺では箱根ヶ崎駅西口付近の町公有地を活用し、モノレールが開業するまでの間に地域と協働し、町の魅力を発掘、創造する取組みを実施するとともに、(仮称)No.7駅とJR箱根ヶ崎駅を結ぶ連絡通路の設置を進めます。

今後も、東京都をはじめ、沿線の東大和市、武蔵村山市とも連携を図りながら、更なる交通需要の増加にもつながる将来を見据えたまちづくりに、スピード感をもって取り組んでまいります。

このことから、早期実現について、引き続き強力で推進されることを要望いたします。

令和8年2月20日

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 山 崎 栄

瑞穂町議会

議長 小川 龍 美

瑞穂町議会交通対策特別委員会

委員長 大坪 国 広